

【島のくらしの情報】

五島市～五島列島(福江島、奈留島、前島、柁島、久賀島、蘇小島、赤島、黄島、黒島、嵯峨島、島山島)～

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>■職業 ・島には、農業、漁業をはじめとした第一次産業従事者や観光などのサービス業従事者が多くいます。</p> <p>■研修制度 ・農業、漁業の第一次産業従事希望者のために、研修制度と生活支援を行っています。</p> <p>◆農業研修制度に関するお問い合わせ:農業振興課農務班 電話 0959-72-7816 ◆漁業研修制度に関するお問い合わせ:水産課水産振興班 電話 0959-72-7869 ※その他、助産師・看護師・介護士も多数募集しています。</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<p>■短期滞在住宅 移住に関心のある方のために、市内での生活を短期的に体験するための住宅を準備しています。</p> <p>・利用期間は1ヶ月～3ヶ月(奥浦及び奈留住宅は最大6ヶ月) ・利用料は無料 ・浄化槽費及び光熱水費は利用者負担 ※その他、不動産物件の情報収集のご相談にも対応します。 ◆お問い合わせ:商工地域振興課 電話:0959-72-7862</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>③ 医療環境の状況</p>	<p>・病院 4ヶ所(内科、小児科、外科、精神科・神経科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科など) ・診療所 44ヶ所(内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、脳外科など) ・歯科診療所 17ヶ所 ※緊急患者はヘリコプターで本土の病院へ直接搬送も行います。</p>
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<p>■高齢者福祉 ・介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設10ヶ所) ・居宅介護サービス事業所(デイサービス、ヘルパー事業所68ヶ所) ※高齢者の生活施設など充実しています。 ◆お問い合わせ:長寿介護課長寿支援班 電話 0959-72-6194</p> <p>■児童福祉、障がい者福祉等 ・児童福祉施設(保育所、へき地保育所、児童養護施設、児童クラブ等40ヶ所) ・障がい者福祉施設(共同生活援助、勤労継続支援等17ヶ所) ※相談窓口を設置しています。悩まずに、まずはお気軽にご相談ください。 ◆お問い合わせ:社会福祉課 電話 0959-72-6117</p>

<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<p>■学校 ・小学校 19校 ・中学校 11校 ・高等学校 4校(普通コース、スポーツコース、衛生看護科、教科・科目を選択できる総合学科など)</p> <p>※特別支援学校分教室との連携により、思いやりの心を持つ子どもに育てることができます。 二次離島では小中高一貫教育も行われており、安心して教育を受ける事ができます。 ※平成28年度から二次離島での「しま留学」の受入も始まっています。</p>
<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>・水道普及率は98.5%(平成27年度、うち上水道71.0%、簡易水道27.5%、小規模飲用水供給施設0.1%)です。</p> <p>※五島海域は、海洋再生可能エネルギーのポテンシャルが高く、その可能性を活用し、浮体式洋上風力発電の実用化や潮流発電実証事業の展開等に努めており、「エコの島」の実現に向け島全体で取り組んでいます！</p>
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>本土からのアクセス 【東京から】羽田空港から福岡経由で五島福江空港まで約3時間 【福岡から】福岡空港から五島福江空港まで40分 博多港から“フェリー太古”利用で8時間30分 【長崎から】長崎空港から五島福江空港まで30分 長崎港から福江港までジェットfoilで85分、フェリーで約3時間</p>
<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>■島内交通事情 ・バス ・タクシー ※この他、EV(電気自動車)のレンタカーを充実させています。環境に優しく、快適な島内移動が可能です。</p> <p>■五島内航路(二次離島航路) ・福江島～奈留島、久賀島、椛島、黄島、赤島、黒島、嵯峨島 ※海上タクシーもあります。</p>

<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>■物価 ・米(5kg) 2,000円程度 ・ガソリン(1L) 145円程度</p> <p>■買い物 ・スーパーマーケット ・コンビニエンスストア ※水産物・農産物直売所もあります。地元で採れた新鮮な食材をいつでも手に入れることができます。 米や野菜などは、家庭内で食す分を自分で作っている方も多くいらっしゃいます。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>平成19年度～平成28年8月末までの移住者の数は138世帯226人。 中でも30代の移住者は53名と約3割を占めており、定年後のスローライフを希望する世代だけでなく、子育て世代からの注目も高いです。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>■短期滞在住宅 移住に関心のある方のために、市内での生活を短期的に体験するための住宅を準備しています。 ・利用期間は1ヶ月～3ヶ月(奥浦及び奈留住宅は最大3ヶ月) ・利用料は無料 ・浄化槽費及び光熱水費は利用者負担</p> <p>■下見に対する支援状況 事前にご連絡いただければ、担当者が短期住宅や空き家バンク物件のご案内を承ります。</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>■短期滞在住宅 移住に関心のある方のために、市内での生活を短期的に体験するための住宅を準備しています。 ・利用期間は1ヶ月～3ヶ月 ・利用料は無料 ・浄化槽費及び光熱水費は利用者負担</p> <p>■空き家バンク制度 平成27年度から空き家バンク制度も開始。島内各所の物件情報を掲載しています。 空き家バンクの登録物件を改修する際、最大100万円の改修補助金の支援も。</p> <p>■引っ越し費用助成 平成28年度から子育て世帯等の引っ越し代の一部を補助する制度を新たに創設しました。 高校生以下の子どもをもつ子育て世帯や40歳未満の夫婦が移住する際、最大15万円補助金を交付します。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らし方について伝えておくべき必要な情報</p>	<p>五島市は豊かな自然だけでなく病院も学校もコンビニもそろっていて、「穏やかなしま暮らし」と「暮らしやすい」を両立できる田舎暮らし初心者にもおすすめの島です。 体験ツアーや短期住宅を利用したお試し移住で、島での暮らしをぜひ一度体感してください。 憧れのしま暮らしを、ここ五島市で叶えませんか？ ◆お問い合わせ：商工地域振興課 電話：0959-72-7862</p>